

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	足利市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	相田みつを生誕100年記念事業	総事業費				11,000,296	2,000,000	13,000,296
		うち市町支出額				1,965,360	2,000,000	3,965,360
		うち県交付金				982,680	0	982,680
2	足利サイクルツーリズム事業	総事業費		1,946,070	2,228,503	2,316,244	2,100,000	8,590,817
		うち市町支出額		1,886,568	2,000,000	1,992,368	1,000,000	6,878,936
		うち県交付金		943,284	1,000,000	996,184	0	2,939,468
3	Vélo.Wataraseサイクルツーリズム推進事業	総事業費			289,006	2,000,700	3,710,994	6,000,700
		うち市町支出額			289,006	2,000,000	3,710,994	6,000,000
		うち県交付金			144,503	1,000,000	1,855,497	3,000,000
4	関係人口創出事業	総事業費	600,000	1,026,488	1,061,020	1,109,101	1,000,000	4,796,609
		うち市町支出額	600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,600,000
		うち県交付金	0	500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
5	“学び”まちゼミINあしかが事業	総事業費				738,146	700,000	1,438,146
		うち市町支出額				300,000	300,000	600,000
		うち県交付金				150,000	150,000	300,000
6	あしかが坂西軽トラ市事業	総事業費				599,128	1,400,000	1,999,128
		うち市町支出額				100,000	200,000	300,000
		うち県交付金				50,000	100,000	150,000
7	文化財を活用した魅力プロモーション事業	総事業費			4,024,056	3,000,000	3,000,000	10,024,056
		うち市町支出額			3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000
		うち県交付金			1,500,000	1,500,000	0	3,000,000
8	「山姥切国広縷縷プロジェクト」市内周遊促進事業	総事業費				8,339,495	100,000	8,439,495
		うち市町支出額				7,223,000	100,000	7,323,000
		うち県交付金				3,000,000	0	3,000,000
9	歩くまち空間創出事業	総事業費	1,348,217	1,514,831	1,475,000	1,412,948	1,000,000	6,750,996
		うち市町支出額	1,348,217	960,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,308,217
		うち県交付金	0	480,000	500,000	500,000	0	1,480,000
10	あしかが美食まつり	総事業費	1,358,586	1,310,772	1,253,995	1,319,000	1,319,000	6,561,353
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	300,000	300,000	3,000,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000	0	0	1,200,000
11	着物・甲冑によるまち歩き推進事業	総事業費	383,012	450,638	452,767	250,000	250,000	1,786,417
		うち市町支出額	360,000	450,000	450,000	250,000	250,000	1,760,000
		うち県交付金	180,000	225,000	225,000	0	0	630,000
12	夜景サミット2023in足利	総事業費	0	0	6,023,003	300,000	300,000	6,623,003
		うち市町支出額	0	0	6,000,000	0	0	6,000,000
		うち県交付金	0	0	3,000,000	0	0	3,000,000
市町計	総事業費	3,689,815	6,248,799	16,807,350	32,385,058	16,879,994	76,011,016	
	うち市町支出額	3,108,217	5,096,568	14,539,006	19,130,728	12,860,994	54,735,513	
	うち県交付金	580,000	2,548,284	7,269,503	8,678,864	2,105,497	21,182,148	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	相田みつを生誕100年記念事業
事業主体の名称	相田みつを生誕100年記念事業実行委員会
代表者の名称	委員長 邊見 隆
事業主体の所在	足利市通3丁目2757
事業主体の概要	・団体の目的:本市出身である書家で詩人の相田みつを氏の生誕100周年を記念する事業の実施 ・設立年月日:令和6年4月23日 ・構成員等:足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利市観光協会、足利商業連合会、足利市
当該事業に係る地域の現状と課題	本市は、地理的、歴史的環境を背景に豊かな文化が育まれ、近代以降、市民が様々なかたちで芸術や文化に携わってきた。近年は少子高齢化や趣味の多様化により、芸術・文化の担い手が減少しているほか、コロナ禍もあり鑑賞機会も減少した。 本市の特色である「歴史」と「文化」を人づくりに生かすため、本市ゆかりの芸術・文化について、積極的に市内外へ発信し、市民等が芸術・文化に関わる機会を創出するとともに、未来の担い手である子どもたちの教育にも取り入れていく。
事業目的	本市出身の書家である相田みつを氏が生み出した作品は、その独自の書体やデザインから今なお多くの人の心を掴み、愛されている。令和6年に生誕100周年を記念する展覧会を開催し、市民が郷土の偉人である相田みつを氏の作品に触れることができる機会を創出するとともに、その魅力を市内外の方へ広く発信し、その功績を語り継いでいく。 また、市内事業者との連携のもと「歴史と文化のまち 足利」の機運を高め、本市の関係人口創出にもつなげる。
事業概要	【令和6年度】【I-d】 ①相田みつを氏生誕100年記念展覧会の開催 ・「相田みつを美術館」に協力いただき、足利市立美術館を会場に相田みつを氏の展覧会を開催。期間中18,149人の方に来場いただいた。 ・また、市内小中学校の夏休みの自由課題として、相田みつを展の見学の実施や作品を活用した授業を実施するなど、相田みつを氏の功績を後世に伝えた。 ○開催期間 ・令和6年7月12日 内覧会(足利市立美術館) ・令和6年7月13日～9月1日 展覧会開催(足利市立美術館) ②「歴史と文化のまち」のシティプロモーション ・記念展覧会のポスター・チラシを作成し、東武鉄道及びJR駅への掲出や、テレビ等の様々な広報媒体をとし、記念展覧会や本市の歴史と文化の情報を市内外へ発信した。また、市内事業者と連携し、相田みつを作品を活用したPRやまちなかにのぼり旗を掲出するなど、市内の周遊性を高める取組を実施した。 【令和7年度以降】 引き続き、本市ゆかりの芸術・文化に関する情報発信や市内事業者との連携をととして、「歴史と文化のまち」の取組を推進していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れつくる 【KPI】足利学校年間参観者数 令和2年:60,516人→令和7年:180,000人 【達成状況】令和5年:166,147人 【数値目標】年間観光客入込数 令和2年:300万人→令和7年:550万人 【達成状況】令和5年:441万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①相田みつを氏生誕100年記念展覧会の開催 ②「歴史と文化のまち」のシティプロモーション	「歴史と文化のまち」のシティプロモーション		「歴史と文化のまち」のシティプロモーション
事業費	11,000,296	2,000,000	13,000,296	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,965,360	2,000,000	3,965,360	2,000,000
うち県交付金	982,680	0	982,680	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	9,034,936	9,034,936	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	相田みつを生誕100年記念事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	1,965,360	
展覧会入館料	9,034,640	1,000円×6,436人、800円×3,125人、640円×61人、400×149人
利子	296	銀行利子
計	11,000,296	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
使用料及び賃借料	5,500,000	1,965,360	982,680	3,534,640	作品借用
通信運搬費	65,464	0	0	65,464	チラシ・ポスター等郵送代
印刷製本費	1,486,760	0	0	1,486,760	ポスター、チラシ、パンフレット、チケット等
消耗品費	681,552	0	0	681,552	展覧会企画用品等
報償費	2,000	0	0	2,000	講師謝礼
広告費	1,508,210	0	0	1,508,210	ポスター駅掲出料等
手数料	19,727	0	0	19,727	振込手数料等
食糧費	23,470	0	0	23,470	手土産代
委託料	1,629,900	0	0	1,629,900	作品輸送・展示業務委託、広告物デザイン委託等
保険料	27,130	0	0	27,130	損害保険
公課費	2,000	0	0	2,000	契約書印紙代
修繕費	7,629	0	0	7,629	作品額縁修繕
繰越金	46,454	0	0	46,454	
計	11,000,296	1,965,360	982,680	9,034,936	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名

足利市

事業名

足利サイクルツーリズム事業

事業主体の名称

足利サイクルツーリズム実行委員会

代表者の名称

実行委員長 藤掛 善夫

事業主体の所在

足利市本城3丁目2145

事業主体の概要

・団体の目的:サイクリストにとって魅力的な市内北部地域の豊かな自然・適度な勾配の山道を活用し、来訪者の増加と地域活性化に寄与する取組を行う。
・設立年月日:令和4年4月19日
・構成員等:観光及び農工商関係団体、自転車愛好家グループなど

当該事業に係る地域の現状と課題

第8次足利市総合計画の分野別計画において、「マイクロツーリズムの促進」「観光情報の効果的な発信」「地域資源を活用した地域活性化と持続可能なまちづくり」等を掲げている。本市にはすでに、市内北部の山道や渡良瀬川堤防沿いのサイクリングルートを楽しむサイクリストが訪れているが、その多くは訪れるだけで帰ってしまう状況であり、市内の店舗等への立ち寄りはありませんと考えられる。サイクリストを受け入れる機運の醸成を図るための取組が乏しく、ルートの案内や立ち寄り店舗等の情報発信も限定的なものとなっていた。

事業目的

ヒルクライマーと呼ばれる山道を楽しむ人などを含めた「サイクリスト」にとって魅力的な市内北部地域の豊かな自然・適度な勾配の山道を活用し、サイクリストが訪れやすい環境整備を進め、既存の観光資源との相乗効果により、来訪者の増加と地域活性化に寄与する取組を行う。

事業概要

【令和6年度】
①受入環境の整備
・サイクルラック配置…ロードバイクを駐輪できるサイクルラックを協力店舗等に配置。
・コースの誘導看板作成及び設置…市内に複数ある山道の起点や終点等に、距離等を表示した誘導看板を設置。
・店舗等サイン設置…本事業の協力店舗等であることを示すサインを設置。
・空気入れや修理キットの配置…協力店舗等に配置することにより、自転車のトラブル時の応急対応ができるようになる。
・ロゴステッカーの作成…本事業をPRする上でのロゴを作成物等に貼付ける。
②魅力的な情報の発信・拡散
・アートデザインを施した表示…SNS映えするアートデザインを施した表示を作成、サイクリストによる情報拡散。
・ホームページやSNSを利用した情報の発信…本実行委員会の取組等の情報を随時発信。
③サイクルイベントの開催
・宇都宮ブリッツェンの協力を得て初心者から中級者まで幅広く楽しめるサイクルイベントを実施し、本事業を市内外へPRした。
日 時:令和6年11月9日
場 所:エコアールグリーンプラザ(渡良瀬グリーンプラザ) 足利市岩井町465-1
コース:北部中山間地域コース
・市北部のキャンプ場を目指す約40kmの初級者から中級者向けのコース。
・エイドステーションでは、地元店舗からの飲食物を提供。
・宇都宮ブリッツェン選手を含むガイドライダーが帯同。
④レンタサイクルの推進
・電動自転車を購入し、レンタサイクル事業を行っている足利市観光協会に貸出し自転車でのまちなか回遊を促す。
①～④のほか、
先進しているサイクルイベントの調査をもとに、本市がモデルとするサイクルイベント等を検討した。
近隣他自治体におけるサイクル事業の実態把握調査を実施し、今後の方針等を検討した。

【令和7年度以降】
本市を訪れるサイクリスト(ヒルクライマー)を増やす為にも、受入環境の整備を継続して進めていく。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる
【KPI】年間観光客宿泊数 令和2年:39,000人→令和7年:48,000人
【達成状況】令和5年:53,118人
【数値目標】年間観光客入込数 令和2年:300万人→令和7年:550万人
【達成状況】令和5年:441万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度		
事業費	1,946,070	2,228,503	2,316,244	6,490,817	2,100,000		
市町支出金(ソフト事業分)	1,886,568	2,000,000	1,992,368	5,878,936	1,000,000		
うち県交付金	943,284	1,000,000	996,184	2,939,468			
市町支出金(ハード事業分)				0			
うち県交付金				0			
その他自主財源等	59,502	228,503	331,508	611,881	1,100,000		

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	足利サイクルツーリズム事業
-------	---------------

対象年度	6	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	1,992,368	
サイクルイベント参加料	319,000	2,500円×103人、1,500円×31人、1,000円×6人、1,500円×6人
前年度繰越金	4,721	
銀行利子	155	
計	2,316,244	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市交付金	県交付金		
報償費	102,000	102,000	51,000	0	ガイドライダー、看護師謝礼
消耗品費	377,554	377,554	188,777	0	サイクルラック、サイクルフェスタ消耗品等
食糧費	304,538	0	0	304,538	イベント参加者提供分、キッチンカー清算金、会議用飲料
手数料	71,798	71,798	35,899	0	エントリーサイト、銀行等手数料
委託料	1,375,021	1,375,021	687,511	0	案内看板作成、イベント会場設置、イベント運営委託、記念カード作成委託等
使用料及び賃借料	21,900	21,900	10,950	0	レンタサイクル代、イベント会場使用料
通信費	19,195	19,195	9,598	0	イベント参加者案内通知、ゆうパック等
負担金	24,900	24,900	12,450	0	イベント参加者施設入場料負担分
繰越金	19,338	0	0	19,338	
計	2,316,244	1,992,368	996,184	323,876	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	Vélo.Wataraseサイクルツーリズム推進事業
事業主体の名称	Vélo.Watarase実行委員会
代表者の名称	委員長 柏崎 晃一
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 渡良瀬川サイクリングロードを活用し、本市の持つ豊かな自然や歴史文化遺産を有機的に結び合わせたモデルルートを作成し、サイクリストが走りやすく楽しめる環境整備を進めることで、本市を訪れるサイクリストの増加や市内回遊性の向上を図ることを目指す。</p> <p>・設立年月日: 令和4年12月21日</p> <p>・構成員等: 観光及び農商工関係団体、自転車ロードレースプロチームなど</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	本市の観光は首都圏からの日帰り圏内に位置しているため、マイカーやツアーバスによる通過型観光になっている。そのため、滞在性・周遊性を高めることで、観光消費による地域経済の活性化を図ることが課題となっている。
事業目的	渡良瀬川堤防上のサイクリングロードを軸とし、足利学校や饗阿寺をはじめとした本市固有の地域資源を有機的に結び合わせ、自転車で市内を回遊するサイクルツーリズムを展開することで、本市全体により多くの経済効果を波及させる。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p>①魅力的な情報の発信・拡散 ・市ホームページやSNSを利用した情報の発信…設定したモデルルート情報、トイレ、店舗、駐車場等の施設情報や本実行委員会の取組等の情報を随時発信。 ②魅力あるサイクルイベントの開催 ・自転車乗り方教室(安全教室)等の開催…地域住民に対し、サイクルツーリズムの機運醸成を図るためのイベントを開催。 ③受入環境の整備 ・サイクルラック作成及び配置…ロードバイクを駐輪できるサイクルラックを作成し、協力店舗等に配置。 ・コースの誘導看板作成及び設置…渡良瀬川サイクリングロードや設定したモデルルート上に誘導看板や路面表示を設置。 ・ロゴデザイン・ステッカーの作成…本事業をPRするためのロゴフラッグ等を作成し、協力店舗や作成物等に設置。 ④レンタサイクルの推進 ・電動自転車を購入し、レンタサイクル事業を行っている足利市観光協会に貸出し自転車でのまちなか回遊を促す。 ①～④のほか、本実行委員会の取組に資する事業の研究及び実施を検討した。</p> <p>【令和7年度以降】 本市を訪れるサイクリストを増やす為にも、受入環境の整備を継続して進めていく。併せて、SNSを積極的に活用し、本市の魅力発信し、来訪者の増加に繋げる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】年間観光客宿泊数 令和2年: 39,000人→令和7年: 48,000人</p> <p>【達成状況】令和5年: 53,118人</p> <p>【数値目標】年間観光客入込数 令和2年: 300万人→令和7年: 550万人</p> <p>【達成状況】令和5年: 441万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①魅力的な情報の発信・拡散 ②魅力的なサイクルイベントの開催 ③受入環境の整備	①魅力的な情報の発信・拡散 ②魅力的なサイクルイベントの開催 ③受入環境の整備 ④レンタサイクルの推進	①魅力的な情報の発信・拡散 ②魅力的なサイクルイベントの開催 ③受入環境の整備 ④レンタサイクルの推進		①魅力的な情報の発信・拡散 ②魅力的なサイクルイベントの開催 ③受入環境の整備 ④レンタサイクルの推進
事業費	289,006	2,000,700	3,710,994	6,000,700	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	289,006	2,000,000	3,710,994	6,000,000	2,000,000
うち県交付金	144,503	1,000,000	1,855,497	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	700	0	700	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当署名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	Vélo.Wataraseサイクルツーリズム推進事業
-------	----------------------------

対象年度	6	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	2,000,000	
銀行利子	700	
計	2,000,700	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託料	1,269,125	1,269,125	634,563		垂れ幕作成、区画線設置工事
消耗品費	728,886	728,886	364,443		自転車スタンド、撮影用カメラ、電動自転車、空気入れ他
手数料	2,150	1,989	995	161	振込手数料、収入印紙
繰越金	539			539	
計	2,000,700	2,000,000	1,000,000	700	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	関係人口創出事業
事業主体の名称	ARTあしかが実行委員会
代表者の名称	委員長 栗田俊英
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<p>・団体の目的: アートを通して本市の魅力を感じてもらおうとともに、関係者と連携を図ることで、関係人口の創出、観光誘客及び商業振興にもつなげる</p> <p>・設立年月日: 平成29年11月8日</p> <p>・構成員等: 市内の美術館又はギャラリーの責任者、市内で作品展示を行うアーティスト又は団体の責任者など</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市では第8次足利市総合計画の重点プログラムに「選ばれるまち魅力創出プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力をさらに高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながら賑わい創出と魅力あるまちづくりに取り組んでいる。具体的には本市にある寺社仏閣、古民家などを活用し、本市の文化を後世へ残そうと活動する団体や作家なども多くいるものの、それぞれの活動が分散されており継続的な取組につながっていない。こういった取組が本市の強みとして認識され「選ばれるまち」となるよう、関係人口の創出が課題である。</p>
事業目的	<p>市内で活動する団体や作家、美術関係者等と連携を図り、本市の強みである文化と歴史を魅力として感じてもらえる催事等を開催することで、本市への関係人口の増加を図り、まちの賑わいを創出する。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-a】</p> <p>①アシカガアートクロス2024開催(市内の美術関係者等と連携したアート展)</p> <p>・市外在住の作家やイベント運営に関わる大学生ボランティア等を受け入れることで、広く来場者呼び掛け、関係人口を創出した。</p> <p>時期: 令和6年9月14日～29日</p> <p>会場: 足利市内北部エリア(名草ふるさと交流館、旧名草保育所、名草セミナーハウス、ガソリンスタンド跡地ほか)</p> <p>②アフターイベント滞在制作の実施</p> <p>・過去のイベントで活躍した作家を招聘し、滞在制作を実施。</p> <p>時期: 令和6年12月16日～23日</p> <p>会場: 名草セミナーハウス</p> <p>③「あしかがアートクロス2023・2024」記録集作成</p> <p>・イベントの展示風景を中心とした記録集を作成。</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>本事業により培ってきた作家や美術関係者、ボランティアスタッフ等との縁をさらに深め、本市ならではの豊かな地域資源とアートとの相乗効果を引き続き生み出していくことで、選ばれるまちとしての魅力を高め、関係人口から将来的な移住へとつなげていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】市公式SNS登録者数 令和2年: 19,450人→令和7年: 62,900人</p> <p>【達成状況】令和5年: 58,150人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①滞在制作の受入 ②展覧会の企画立案及び開催に向けた準備	①滞在制作の受入 ②展覧会の開催	①滞在制作の受入 ②展覧会の開催		①滞在制作の受入 ②展覧会の企画立案及び開催に向けた準備
事業費	1,026,488	1,061,020	1,109,101	3,196,609	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	0
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	0
市町支出金 (ハード事業分)					
うち県交付金					
その他自主財源等	26,488	61,020	109,101	196,609	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	関係人口創出事業
-------	----------

対象年度	6	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	1,000,000	
自主財源等	109,101	
計	1,109,101	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	345,000	300,000	150,000	45,000	作家への謝礼等
消耗品費	46,809	44,000	22,000	2,809	会場案内看板等
印刷製本費	430,782	400,000	200,000	30,782	ポスター、フライヤー等
委託費	226,500	200,000	100,000	26,500	記録集デザイン委託費等
使用料及び賃借料	5,000	4,000	2,000	1,000	会場等使用料
通信運搬費	45,770	44,000	22,000	1,770	作品資材運送、郵送料等
手数料	9,240	8,000	4,000	1,240	振込手数料
計	1,109,101	1,000,000	500,000	109,101	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてく、具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	“学び”まちゼミINあしかが
事業主体の名称	足利商工会議所
代表者の名称	会頭 相馬 稔
事業主体の所在	足利市通3丁目2757番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:交通網や経済基盤の整備、企業を取り巻く経済環境を充実させるため、地元産業界の代表として、意見活動を行う総合経済団体として商工業の発展に寄与すること ・設立年月日:昭和15年10月15日 ・構成員等:足利商工会議所会員
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>足利市の地域特性として個人事業主が多いということが挙げられ、市内には個店が多く点在している。しかしながら、多くの顧客は大型店や全国展開しているチェーン店などを利用し、個店を利用する顧客が限定的である。</p> <p>また、近隣市の大型商業施設への若い世代の顧客の流出が懸念され、地域経済の発展・活性化に影響を及ぼしている。</p>
事業目的	<p>地域商店街の活性化及び賑わいのある地域づくりに寄与するため、大型店にはない個店の魅力を知ってもらい、お店のファンになってもらうことを目的としている。</p> <p>また、店主やスタッフとお客様のコミュニケーションの場から、お客様のニーズを把握することでこれからの運営に活かすとともに、新規顧客の獲得やリピーターの確保に繋げ、関係人口の創出を図る。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】 個店の店主が講師となり(趣味でも可)、専門知識・情報・コツを無料で教える少人数の講座(まちゼミ)を開催した結果、市内外の顧客との接点を作ることができた。 講座数:46講座(25店舗) 参加者数:260名 ①参加店舗を募集するチラシ作成 ②チラシや足利商工会議所広報誌「友愛」、ホームページでの参加者募集 ③開催チラシ作成 ④まちゼミ開催(2/1~2/28)</p> <p>【令和7年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる 【KPI】市公式SNS登録者数 令和2年:19,450人→令和7年:62,900人 【達成状況】令和5年:58,150人 【数値目標】相談事業を経た年間移住者数 令和2年:41人→令和7年:66人 【達成状況】令和5年:66人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加店舗募集 ・店舗で講座体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加店舗募集 ・店舗で講座体験 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加店舗募集 ・店舗で講座体験
事業費	738,146	700,000	1,438,146	700,000
市町支出金 (ソフト事業)	300,000	300,000	600,000	0
うち県交付金	150,000	150,000	300,000	0
市町支出金 (ハード事業)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	438,146	838,146	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	足利市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	“学び”まちゼミINあしかが
-------	----------------

対象年度	6	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
負担金	300,146	商工会議所負担金
参加費	138,000	3,000円×46講座×1回
市補助金	300,000	
計	738,146	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市交付金	県交付金		
印刷製本費	539,255	300,000	150,000	239,255	チラシ作成費
広告費	189,983			189,983	チラシ折込料
通信運搬費	5,908			5,908	郵便料
使用料及び賃借料	3,000			3,000	説明会会場使用料
計	738,146	300,000	150,000	438,146	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調査）

【単独事業】

市町名	足利市
事業名	あしかが坂西軽トラ市
事業主体の名称	足利市坂西商工会
代表者の名称	会長 田中 美雄
事業主体の所在	足利市葉鹿町1丁目20番地5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 商工業の総合的改善・発達並びに社会一般の福祉の増進を目的とし、経済支援や地域活性化を図ること ・設立年月日: 昭和35年8月24日 ・構成員等: 足利市坂西商工会会員
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>坂西地区は足利市の西に位置しており、群馬県太田市・桐生市と隣接しているため、近隣の大規模商業施設へアクセスがしやすく、顧客流出が懸念されている。また、人口減少、少子高齢化による後継者不足や廃業なども課題となっている。</p> <p>さらに、市内の著名な観光地からも離れているため、関係人口の創出強化が必要である。</p>
事業目的	<p>消費者・生産者・商工業者の交流が図れる場として開催し、新規顧客の獲得やリピーターの確保を目指す。また、他市と隣接している地理的有利性を生かし、イベントチラシの裏面にサービス券を記載することでイベント当日だけでなく、イベント後も足利市へ訪れるきっかけを作り、最終的には地元地域商店街の活力向上と、持続可能な魅力あるまちづくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【令和6年度】【I-d】 商店街内道路を通行止めし、歩行者天国にした上で、軽トラ等の荷台で農産物・加工品・商工業等の販売を行った(参加者数3,000名)。 <ul style="list-style-type: none"> ・出店募集のチラシ作成 ・チラシ、ホームページで出展募集 ・開催チラシ作成 ・軽トラックの荷台を利用した物品販売(10月20日) ※軽ワンボックス、軽自動車も可 ※交通規制あり(AM6:00~12:00) </p> <p>【令和7年度以降】 前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる 【KPI】年間観光客宿泊数 令和2年: 39,000人→令和7年: 48,000人 【達成状況】令和5年: 53,118人 【数値目標】年間観光客入込数 令和2年: 300万人→令和7年: 550万人 【達成状況】令和5年: 441万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

事業内容	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	軽トラックの荷台を利用した物品販売	軽トラックの荷台を利用した物品販売		軽トラックの荷台を利用した物品販売
事業費	599,128	1,400,000	1,999,128	1,400,000
市町支出金 (ソフト事業)	100,000	200,000	300,000	200,000
うち県交付金	50,000	100,000	150,000	100,000
市町支出金 (ハード事業)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	1,200,000	1,699,128	1,200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	足利市
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	あしかが坂西軽トラ市
-------	------------

対象年度	6	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
出店者負担金	134,000	会員2,000円×21名、非会員4,000円×23名
市補助金	100,000	
商工会等助成金	50,000	栃木県商工会連合会
協賛金	280,000	10,000円×28店舗
雑収入	12,000	追加抽選券購入
負担金	23,128	商工会負担金
計	599,128	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市交付金	県交付金		
報償費	39,000			39,000	出演者謝礼等
消耗品費	129,280			129,280	景品用袋、インクカートリッジ、養生テープ、景品等
食糧費	68,633			68,633	協力者昼食、お茶等
印刷製本費	49,667			49,667	チラシ・ポスター作成費
通信運搬費	50,488			50,488	郵送料
手数料	2,300			2,300	道路使用許可申請
保険料	5,000			5,000	損害保険料
使用料及び賃借料	254,760	100,000	50,000	154,760	駐車場、備品賃借料等
計	599,128	100,000	50,000	499,128	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名

足利市

事業名

文化財を活用した魅力プロモーション事業

事業主体の名称

足利灯りのある街づくり実行委員会

代表者の名称

委員長 早川 慶治郎

事業主体の所在

足利市伊勢町三丁目6-4

事業主体の概要

・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。
・設立年月日: 平成29年1月24日
・構成員等: 観光及び商工振興関係団体

当該事業に係る地域の現状と課題

足利市内には饒阿寺・史跡足利学校・足利織姫神社などの魅力的な観光資源があるものの、首都圏からも近くアクセスしやすいため、日帰りの観光客が多く、宿泊や飲食が伴っていないのが現状である。
市内には、「あしかがフラワーパーク」のイルミネーションや足利織姫神社の夜景など夜景観光資源も多くあるが、中心市街地にある既存の文化財等をライトアップなどにより活用することで、既存の夜景観光資源との連携強化や、滞在型観光及び近隣市町村からの交流人口の増加をさらに推進していくことが課題である。

事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の回復及び地域経済の活性化を目的とし、本市ならではの歴史ある観光資源である文化財に光や灯りのコンテンツ等を融合させ、魅力を高めることで、観光客の来訪意欲を喚起し、まちなかへの回遊を促進する。
また、史跡足利学校などの市内観光施設と連携することで、それぞれが持つ集客力等を最大限に活用した効果的な情報発信を行い、足利市の魅力を市内外へ広くPRすることで交流人口の増加につなげる。

事業概要

【令和6年度】
①特設WEBページによる情報発信
足利市の秋から冬への魅力を訴求するための特設WEBページを作成し、様々なホームページ等とリンクさせ、WEB上で広く情報発信した。
②WEB/バナー広告による情報発信
LINE等のSNSへバナー広告を出稿し、WEB上から足利市の旬な情報や魅力を掲載した特設ページ等へのアクセスを促した。
③Instagramフォトコンテストの実施
足利市を訪れた方々に足利灯り物語等の写真をInstagramに掲載いただくことで、視覚的情報の提供による足利市の魅力発信と新規来訪者の獲得につなげた。
④光と灯りのチラシ作成による魅力PR
足利灯り物語のチラシを作成し、各所での配架や新聞折込を行うことで「光と灯りのあるまち」としての認知度の向上と定着を図った。
⑤花手水等の展示
足利灯り物語の会場に花手水等を設置することで、既存の文化財等の魅力をブラッシュアップし、さらなる誘客を図った。
【令和7年度以降】
継続的な情報発信事業の実施により、「光と灯りのあるまち」足利の認知度向上と定着を図り、交流人口の増加につなげる。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる
【KPI】年間観光客宿泊数 令和2年: 39,000人→令和7年: 48,000人
【達成状況】令和5年: 53,118人
【数値目標】年間観光客入込数 令和2年: 300万人→令和7年: 550万人
【達成状況】令和5年: 441万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①特設WEBページによる情報発信 ②WEB/バナー広告による情報発信 ③Instagramフォトコンテストの実施 ④光と灯りのチラシ作成による魅力PR ⑤花手水等の展示	①特設WEBページによる情報発信 ②WEB/バナー広告による情報発信 ③Instagramフォトコンテストの実施 ④光と灯りのチラシ作成による魅力PR ⑤花手水等の展示	①特設WEBページによる情報発信 ②WEB/バナー広告による情報発信 ③Instagramフォトコンテストの実施 ④光と灯りのチラシ作成による魅力PR ⑤花手水等の展示		①特設WEBページによる情報発信 ②WEB/バナー広告による情報発信 ③Instagramフォトコンテストの実施 ④光と灯りのチラシ作成による魅力PR ⑤花手水等の展示
事業費	4,024,056	3,000,000	3,000,000	10,024,056	3,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	0
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,024,056	0	0	1,024,056	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	文化財を活用した魅力プロモーション事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	3,000,000	
計	3,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	220,000	220,000	110,000	0	花手水資材代
印刷製本費	605,795	605,795	302,897	0	イベントチラシ作成費
手数料	3,740	3,740	1,870	0	支払手数料
委託料	2,170,465	2,170,465	1,085,233	0	WEB発信委託、新聞折込委託、花手水等展示委託
計	3,000,000	3,000,000	1,500,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名

足利市

事業名

「山姥切国広縷縷プロジェクト」市内周遊促進事業

事業主体の名称

「山姥切国広縷縷プロジェクト」市内周遊促進事業実行委員会

代表者の名称

実行委員長 山岡 真二

事業主体の所在

足利市本城3丁目2145

事業主体の概要

・団体の目的: 足利市内における文化観光の推進を図り、観光事業の発展に寄与することを目的とする。
・設立年月日: 令和6年9月2日
・構成員等: 足利市、足利商工会議所、(一社)足利市観光協会、観光振興関係団体

当該事業に係る地域の現状と課題

足利市内の中心市街地には歴史的価値の高い文化財である鑢阿寺・史跡足利学校・足利織姫神社などの魅力的な観光資源があり、年齢層の高い観光客が多く見受けられる。
また、市内周遊ルートがマンネリ化していることや首都圏からの距離も近く、アクセスしやすいことから、日帰り観光客が多く、宿泊や飲食が伴っていないのが現状である。
これまで過去2回「山姥切国広」の刀剣展を実施し、その度に若年女性層が多く足利市に訪れたが、継続的な来訪には至っておらず、足利市ゆかりの名刀「山姥切国広」という新しい観光資源が生まれたことを機に関係人口の増加を図るために刀剣男士を新機軸に周知していく必要がある。

事業目的

足利市ゆかりの名刀「山姥切国広」を新たな観光資源の軸とし、その展示会や連携周遊事業の実施をとおして、来訪者である刀剣ファンに刀の観賞だけでなく、刀にゆかりのある寺社や文化財、既存観光施設との回遊を促進することで、足利市の歴史や観光施設に興味を持っていただくとともに、観光客の来訪意欲を喚起する。
また、市内事業者が一つとなり受入態勢の強化を図り、来訪者をおもてなしすることで、来訪者と市内事業者を含む市民との交流により、共に名刀を本市の宝として末永く守り、未来へ伝えていくという機運醸成に繋げ、市内経済の活性化や交流人口の増加を図る。

事業概要

【令和6年度】[1-d]
足利市立美術館において開催の刀剣特別展の開催に合わせ、周遊促進事業を実施した。本市が誇る歴史遺産や街並みを活用した足利ならではのコラボレーションイベントを実現させ、刀の魅力と足利の歴史のストーリーの創出を図った。
【内容】
特別展開催期間に合わせて以下の事業を実施した。
①販促ツール制作
のぼり旗やポスターを作成し、協力店舗や公共施設等に設置することで、足利市一体となったおもてなしの機運醸成を図った。
②刀剣男士等身大パネル製作
刀剣男士の等身大パネルを作成し、来足記念フォトスポットを設置した。
③市内周遊事業
・スタンプラリーブック、スタンプ及びスタンプ台を作成し、周遊スポットを周遊するスタンプラリーを実施した。
・市内商店等への誘客を図るため、ノベルティ(ステッカー)を作成し、店舗で商品購入者等へ配布した。
④市内施設での特別企画
あしかがフラワーパークにて、刀剣男士とコラボレーションしたアクリルパネルアートや花手水を特別展示し、更なる誘客を図った。
⑤特設WEBページ・SNS配信の運営並びに各種媒体を活用した情報発信
・特設WEBページ、SNS等の各種媒体を活用し、コラボレーションイベントの情報発信を行い、その他最新情報等を発信し、会期中も継続的に発信した。
・本市への誘客を強力に推進するため、浅草東武ビジョンや東武伊勢崎線足利市駅、JR両毛線主要駅で広告宣伝を行った。
【令和7年度以降】
前年度歴史的な文化価値と新たな観光資源の組み合わせにより作成された周遊コースをSNS等で継続して対外的にPRする。
また、構築された関係団体と連携し、刀剣展へ来訪された方向けの感謝イベントを実施することで、飲食等の消費行動を喚起し、市内経済の活性化を図る。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる
【KPI】年間観光客宿泊数 令和2(2020)年:39,000人→令和7(2025)年:48,000人
【達成状況】令和5(2023)年:53,118人
【数値目標】年間観光客入込数 令和2(2020)年:300万人→令和7(2025)年:550万人
【達成状況】令和5(2023)年:441万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①販促ツール制作 ②刀剣男士等身大 パネル制作 ③市内周遊事業 ④市内施設での特 別企画 ⑤特設WEB、SNS配 信、運営、情報発信	刀剣関連事業 市内経済活性化事 業		刀剣関連事業 市内経済活性化事 業
事業費		8,339,495	100,000	8,439,495	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)		7,223,000	100,000	7,323,000	100,000
うち県交付金		3,000,000		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	1,116,495	0	1,116,495	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「山姥切国広縷縷プロジェクト」市内周遊促進事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	7,887,000	
協賛金	451,000	協賛店からの協賛金(3,000円×117店) イベント協賛金(100千円)
諸収入	1,495	預金利息
計	8,339,495	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	24,850	0	0	24,850	関係各所謝礼
旅費	8,860	0	0	8,860	PR出張旅費
消耗品費	148,952	110,000	50,000	38,952	のぼり旗注水台、テントウエイ等
印刷製本費	730,000	664,000	200,000	66,000	ノベルティ(ステッカー)作成費、スタンプラリー台紙追加作成費
通信運搬費	8,910	0	0	8,910	郵送料
手数料(課税)	6,490	0	0	6,490	振込手数料
委託料	7,398,710	7,113,000	2,750,000	285,710	コラボイベント、デザイン制作委託料、著作権利用ガイドライン資料制作費、東武鉄道広告掲出委託料 JR両毛線主要駅ポスター掲出委託料、特別企画委託料、周遊案内看板制作・設置撤去委託料
使用料及び賃借料	10,480	0	0	10,480	高速道路使用料、駐車場代
次年度繰越金	2,243	0	0	2,243	
計	8,339,495	7,887,000	3,000,000	427,645	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名

足利市

事業名

歩くまち空間創出事業

事業主体の名称

門前マルシェ実行委員会

代表者の名称

委員長 柏崎 晃一

事業主体の所在

足利市本城3丁目2145

事業主体の概要

・団体の目的: 史跡足利学校の門前において実施する「門前マルシェ」を企画・運営し、地域の発展及び活性化に寄与すること
・設立年月日: 平成30年4月2日
・構成員等: 足利商工会議所、足利市、市内事業者等

当該事業に係る地域の現状と課題

足利市は、史跡足利学校・鏝阿寺などの文化遺産が中心市街地にまとまっており、近隣市にはない特色と地理的優位性がある。しかし、中心市街地は空洞化が進んでおり、賑わいの再生や交流人口の増加による経済活性化が課題である。
その地域性を生かして、市民がいつまでも安心安全で豊かに生活できるような、食事や買い物、体験を歩いて楽しめる空間を創出し、持続可能な都市を目指していく。

事業目的

足利市を代表する文化遺産「史跡足利学校」を核として、足利学校の門前通りにて、世界中の道具や日用品、食を紹介し、衣食住を豊かにしていくヒントとなる物や情報を集めたマルシェを開催することで、市民をはじめとする来場者へ生活を豊かにする知恵を提供することができ、持続可能なまちづくりにつなげる。また、来場者が歩いて会場周辺の文化遺産や商店を回遊することで、まちの賑わいが生まれ、さらに経済効果に寄与することができる。

事業概要

史跡足利学校を核として、「門前マルシェ」を開催し、お客様が石畳通りに並ぶ商店を含めて回遊できる仕組み作り、歩いて楽しめる空間を創出した。県内・両毛地域・北関東など近隣へのPRを重点的に行い、近隣市町村からの関係人口の増加を目的に活動した。
①門前マルシェ・鏝阿寺マルシェの開催
令和6年10月20日11時～16時 来場者数: 10,000名
内容: 史跡足利学校周辺を歩行者天国とし、開催した。昨年同様に、鏝阿寺では市内店舗のみをを公募し、鏝阿寺マルシェを同時開催した。
②Night market “CARAVAN”の開催
初の試みとして、市内外の事業者によるマルシェを鏝阿寺境内において開催し、夜間の賑わいを創出した。
・令和6年8月10日16時～21時 来場者数: 1,000名
・令和6年12月15日15時～21時 来場者数: 1,000名
③アドバイザーの招聘
内容: 本事業を遂行していくため、国内外のマルシェや集客イベントに知見がある方をアドバイザーとして招聘し、歩いて楽しめるまちづくりのノウハウを取得した。
【令和7年度以降】
前年度同様に門前マルシェを実施し、歩いて足利を回遊できる仕組みを継続して作っていく。
鏝阿寺マルシェは引き続き出店者を公募制とする。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【基本目標】3 まちの魅力を高め、新しい人の流れをつくる
【KPI】年間観光客宿泊数 令和2(2020)年: 39,000人→令和7(2025)年: 48,000人
【達成状況】令和5(2023)年: 53,118人
【数値目標】年間観光客入込数 令和2(2020)年: 300万人→令和7(2025)年: 550万人
【達成状況】令和5(2023)年: 441万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①門前マルシェの開催 ②アドバイザーの招聘	①門前マルシェの開催 ②アドバイザーの招聘	①門前マルシェの開催 ②アドバイザーの招聘		①門前マルシェの開催 ②アドバイザーの招聘
事業費	1,514,831	1,594,034	1,412,948	4,521,813	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	960,000	1,000,000	1,000,000	2,960,000	1,000,000
うち県交付金	480,000	500,000	500,000	1,480,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	554,831	594,034	412,948	1,561,813	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩くまち空間創出事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,000,000	
出店者負担金	219,000	
前年度繰越金	192,850	
諸収入	1,098	
計	1,412,948	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	137,860	130,000	65,000	7,860	チラシ・ポスター制作
使用料及び賃借料	122,867	50,000	25,000	72,867	テント用ウェット等
委託料	780,000	780,000	390,000	0	アドバイザー業務 ホームページやSNSの管
報償費	64,340	0	0	64,340	アルバイト謝礼、土地借 用御礼等
消耗品費	48,896	40,000	20,000	8,896	電球等
通信運搬費	8,400	0	0	8,400	チラシ・ポスター郵送
手数料	2,200	0	0	2,200	振込手数料
備品購入費	110,000	0	0	110,000	出店者使用テーブル
次年度繰越金	138,385	0	0	138,385	
計	1,412,948	1,000,000	500,000	412,948	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合